はやぶさ２・５１０号　　２０２１年０８年０６日(金)

【無料プレゼント】文末に書籍の無料プレゼントの案内がございますのでご確認ください。

第３章・・・・・「企業経営を安全にガイドする経営会計 10 原則」

＊＊180 度経営姿勢を転換する時代が来ました＊

１，「企業経営を安全にガイドする経営会計 10 原則」の目次構成を述べます。

1）経営会計情報（スコアーカード）利活用の原則

2）マーケットの動向が分かるスコアーカードの原則

3）キャシュベース経営の原則

＊＊＊＃509 号（21・07・30）にて発信【済】

4）１人当り営業利益(人時生産性)UP の原則

5）進化・発展するための原則

6）ガラス張り経営の原則

7）１対１の原則

＊＊＊＃510 号（21・08・06）・・今回発信

8）ダブルチェックの原則

9）スリム化の原則

10）持続するための原則

＊＊＊＃511 号（21・08・13）・・予定

に分けてお話しますが、経営者の基本姿勢が重要ですが、業務会計レベルは現場の訓練と習慣化の課題でもあります。

第２回　「１人当り営業利益（人時生産性）がトップクラスでないと生き残れない」

4)1 人当り営業利益(人時生産性)UP の原則

（1）まず、人時生産性の算式で、企業経営の健全性の指標であることを説明する。

＊１人当り営業利益＝営業利益÷従業員数

＊営業利益＝売上総利益ー（販売費＋管理費＋販売管理人件費）

・販売費と管理費に区分して損益を計算してることに留意ください

＊売上総利益＝売上高－売上原価＝（仕入・製造原価・物流関係費＋直接人件費）

・経営会計では売上原価を厳密に測定しますが、別な機会で解説します。

（2）人時生産性をUPさせると云うことは、市場において価値の高いモノを少ない経営資源で創り出すことであり、エンジンの出力である。

【ワンポイント・レッスン】

＊経営者が「魂＝理念を注入」しなければ、どんな経営管理システム”しくみ”があっても、従業員をワクワクさせて、企業を進化させることはできないので企業間競争に敗れ滅びることになる。

5)進化・発展するための原則

（1）非常時の経営はムダをそぎ落とし、未来に必要なモノだけにする。

（2）胆力があり、人心をつかむ指揮官（ドライバー）のもとに戦力（経営資源）を集中する。アクセルを踏むか、ブレーキを踏むか、ハンドリング・エネルギーの補充のタイミングにより企業の安全性は決まるので、ドライバーの力量によることになる。

【ワンポイント・レッスン】

＊経営会計システムの「精度とスピード」は、企業の組織力そのものである。月次試算表（速報）が、いつできるのか？勝つためにはスコアーがいる。

6)ガラス張り経営の原則

（1）中小企業の会計においては、「公私」を明確に区分して企業の財産を個人で使うことは、自殺行為となる。公私混同は企業の命取りになる。

（2）経営会計のスコアー（収益・資金繰り）を、部門責任者に開示しなければ、我が事としてワクワクして働かないし、チームメイトもその気にならない。

【ワンポイント・レッスン】

＊公私混同、私物化は最大の「社会悪」を生み出す。多くの人々に生かされて「目と耳」があることを自覚する。

7)1対1の原則

（1）これは現場でのルールであるが、経営会計において、「モノ・お金」を無伝票で動かすことは、犯罪的行為であり不正を作るので、必ず記録しなければならない。
小企業では経営者が守らないことが多いが、POSレジと同じで即時処理しなければ、収益も資金の流れも分からなくなる。

（2）売上と仕入が「1対1」に処理されなければ、売掛金も買掛金・在庫も成果正確さを欠くことになり、会計の信頼性は根底から崩れる。

【ワンポイント・レッスン】
＊基本中の基本です。業務会計で無伝票処理は精度に大きな影響をあたえ、社内外の規範遵守（コンプライアンス）の水準を示している。

＊＊以下は#511号、21・08・13に
8）ダブルチェックの原則
9）スリム化の原則
10）持続するための原則
を解説いたします。

＊理念経営とは
https://rinenkeieishi.net/about/index.html
＊お問合せ・「理念経営実戦のすすめ」を無料で提供いたします。
（ただし、送料として100円だけご負担ください。）
https://rinenkeieishi.net/contact/form.php

ご愛読ありがとうございます。

著者：(株)I&C・HosBizセンター
Captain　平本　靖夫
プロフィールは
http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto

～～～

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

～～～～～～～～～～～～～～～　次回予告　～～～～～～～～～～～～～～～

皆様のコメントを励みにして、航海を持続いたしますので、重ねてご支援ご鞭撻をよろしくお願いします。

◆次号　第５１１号は、
第３章「企業経家を安全にガイドする経営会計 10 原則」３回シリーズ
第３回「非常時はスラップ＆ビルド（S&B)」を解説いたします。
　２１・０８・13（金）　著者：Captain　平本 靖夫　で、お届けします。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気にお会いしましょう！

――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◆発信日・・・・・毎週・金曜日
◆発行責任者・・・・・Captain　平本 靖夫
◆編集長・・・・・・・・岩下一智・（株）I&C・HosBiz センター　執行役員
　　マーケット・クリエーター(MRC)・・・CSA 開発推進責任者
プロフィール
https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#iwashita

◆お問い合わせ・質問は
メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net
発行責任者：Captain　平本　靖夫、　　編集長：岩下　一智 MRC

＊配信解除ＵＲＬ：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。
　　__stop__